

廣瀬仁のルポルタージュ

靈的人生を歩むためのヒント

2026/5/26 星信仰の復活について





「E21-F ④」 アルトヌウロウイ ARUT.NOROUY 足立育朗

5月19日という地上人生のターニングポイント

4月の引越し作業が一段落し、「EHKO^{エーコ}&松橋の3日間コラボセミナー」やユーワードのSAビジットレでの野村社長による重大発表なども終わり、5月の集中コンサルなどもこなしていつている日々です。とにかく日々出来ることをひとつひとつしており、慌ただしく日々が過ぎ去っています。

5月19日のユーワードSAビジットレでの野村社長による「新プラットフォーム」の発表は、わたしの地上人生のテーマのひとつである「星信仰の復活」の重大なターニングポイントであると感じます。それは、EHKO^{エーコ}が前日に初めて「Devachan^{デヴァアチャン}」を体験^{たいけん}したことも大きく関係しています。

天球の音楽の發する「宇宙の音」と「音程」は「靈の大海（大靈）」の世界に誘うもの、靈的世界に入るための鍵であり、Devachanは魂の眞の故郷、純粹なる音の世界と言われています。音による生命の調律は、再び靈的世界に流れる音の世界に浸るためにあるのです。

わたしにとって、大靈、自然法則、イエスが立案した地球人類救済計画の成就以上の最優先事項はありません。その成就を100年後にするか、50年後まで短縮するかが「星信仰の復活」と、星信仰の復活のための「ユーワード活動」にあります。

そして「宗教の統合」は地上再臨したナザレのイエスが、スピリチュアリズム普及會を依り代として最前線で實行しており、わたしの出る幕ではありません。そちらはイ

エスとスピリチュアリズム普及會ふきゅうかいに任せればいいのです。わたしは地球人類救済計画の裏テーマである「星信仰の復活」を担当する必要があるのです。

星信仰の復活による、地球人類救済計画の成就の加速

そもそも「星信仰の復活」とは、中山康直さんの著書である『聖徳太子コード』に出てくるワードであり、聖徳太子が成したかったことが「宗教の統合」と「星信仰の復活」だと記載されています。

この意味を読み解くには「スピリチュアリズム」が明らかにした「靈的眞理」に対する「正しい理解」が大前提になります。「宗教の統合」と「星信仰の復活」の本質

的意味に気づいているのは地上世界に現時点、廣瀬仁のみでしょう。これはイエスの地上再臨、シルバーバーチの靈訓、スピリチュアリズムの思想體系たいけいがなければ不可能であり、わたしは背後靈により地上人生を導かれていると常々実感します。

SEP01W

星信仰の復活のワードは沢山あり、バラバラのワードを星信仰の復活の思想體系たいけいとして確立させるのが、わたしの次のミッションになるでしょう。星信仰の復活のメインワードは「心靈治療」と「セルフヒーリング」であり、これは地球人類救済計画のメインである「靈的真理の普及」を促進させる意味合いがあります。

ちなみに靈界主導による「スピリチュアル・ヒーリング」の本格化スタートは「1927年」であり、2026年はスピリチュアル・ヒーリング100周年の節目の時期になります。

靈界主導による地球人類救済計画は、必ず100年後までには成就するのは、2021年にイエスが地上再臨を果たしたことでの確定事項であり、わたしはそこに対する疑いは一切ないですが、わたし個人としては、50年後に地球人類救済計画を成就させるために音叉セルフヒーリングの普及が必要であると捉えています。

要するに、音叉セルフヒーリングは地球人類救済計画のメインである「靈的眞理の普及」を加速させるためにある、ただこれだけの位置づけであり、音叉セルフヒーリングを普及しようが普及しまいが地球人類救済計画の成就には関係がないということです。しかし、100年かかるものを50年に短縮することが可能、ここが星信仰の復活の最大の焦点です。地球人類救済を加速させるか、地球人類救済計画を遅延させるか、これが音叉セルフヒーリングの普及にかかっているのです。

神、自然法則、イエス、スピリチュアリズムへの信仰心

わたしはイエスが計画した地球人類救済計画に共感し、自分の意志で靈界の道具意識を選択しています。ここでのポイントは「自分自身の意志」であり、皆さんと違い靈界から「やらされている意識」は一切ありません。そして、出来る限りイエスの教えを正しく理解し、実践したいと考えており、自分自身の勝手な解釈を排除していきません。それが結果的に必ず「人の役に立つ生き方」になると信じているからです。

廣瀬仁の靈的眞理、神、自然法則、イエス、スピリチュアリズムへの信仰心は常軌を逸しているレベルに地上人には見えてしまうでしょうが、わたしは靈界では常識レベルのことを信仰しており、「靈界の常識、地上世界の非常識」といえるものです。

靈界では、神とイエスに全員が従っており、イエスへの反逆者は神の敵と見做されます。それくらい、イエスは惑星地球のリーダーとして認められているということであり、そのイエスの教えに反した生き方をしている人間は、死後にかなり厳しい償いの道になるのが決定しており、神とイエスに逆らうことなど有り得ないのが靈界での常識です。その本質が理解できない地上人は、本物のバカとしか言いようがありません。地球人類救済計画は靈界全員の総意であり、地上人を救済することは自分達を救済することであるという本質を理解しているのです。

神の神意あいの5つの本質的原理

廣瀨仁の行動原理はすべて「神、自然法則を最優先する」であり、その極意は何度

も説いている「無償の奉仕」と「自己犠牲」にあります。この神の神意あの原理を正しく理解し、実践することが人生の最優先事項といっても過言ではありません。ここで神の神意あの原理の大まかな部分を傳つたえておきます。

【神の神意あの5つの本質的原理】

- ① 隣人への神意あ、人類への神意あ、どうぶつ達への神意あ
- ② 共感力の拡大（※靈性の進化とは共感力の拡大である）
- ③ サポートとヘルプ（※靈性の進化に繋がるものはサポート、靈性の進化に繋がらないものはヘルプと定義してもよい）
- ④ 無私無欲（※他人に何かしらの施しをしても見返りを求めないこと）
- ⑤ 自己犠牲（※決心は無償の奉仕、覺悟は自己犠牲、自分を犠牲にする覺悟が重要）

そもそも靈性教育とは何か？と問われたら「思いやり、神意、慈しみの心を育むこと」であり、靈性の進化とは何か？と問われたら「神意の対象者の拡大」と答えます。

これは「時空元（※階層）」にも直結する話であり、イエスの神意の対象者は「地球人類ひとり残らず救済する（※どうぶつ達含む）」であり、これがわたしが地球人類救済計画に共感する理由です。「神意の対象者の拡大」、これは靈性の段階を測る一種の目安にもなるものであり、最高レベルは人類、どうぶつ双方すべてを救済対象にすることであり、イエスの神意の深さがこれで測れるのです。

また、靈的世界の必須項目は「靈優位」「調和の實踐」「積極的に人生に挑戦」「困難への正しい対処」による靈性の進化であり、それを正しく理解し實行させるために

靈的眞理の普及をしていくことが地球人類救済計画の最優先事項なのです。必須項目を決心、實行させることを眞のサポートといえます。なので地上世界で眞のサポートが出来ている存在はまずスピリチュアリズム普及會ふきゆうかいのみだといえます。

反対に地上世界の必須項目は「健康」と「生活必需品の確保」であり、これらはずべてヘルプに該当します。なのでユーワード活動も基本的にはヘルプの領域なのです。会員の中にはユーワードを通した社會貢獻しゃかい、ユーワードを通して自己成長などを説いている人もおり、サポートとヘルプが入り混じっている形になります。

そして最後、「無私無欲」と「自己犠牲」、ここが靈的眞理の極意であり、この5つの神意あゐの原理の複合的要素による「振動波」によって「靈性の階層、段階」が決定さ

れます。この中で「共感力の拡大」と「共感力の欠如」は地上人類のかなり大きな問題点であり、まず大半の地上人は共感力が欠如しているので、赤の他人のために行動するということはしません。それどころか利害関係で行動している人間が大半であり、無私無欲ならぬ私利私欲で生きている人間が多いのです。正直、地上人のあまりの利己主義の多さに呆れ果てますが、残念ながらこれが現時点の地上人類のレベルです。

SEPULW
背後霊の献身的な導きがなければ解讀不可能

星信仰の復活とは、心霊治療の分野になり、音叉セルフヒーリング、生命いのちの調律を通した「DNAの進化」に本質があります。1960年代アメリカ西海岸から始まったニュー

ーエイジ運動（※精神世界系、スピリチュアル系、自己啓発系、ネットワークビジネス

ス、ニューサイエンスなど全般を指す)の本質は、靈界主導の地球人類救済計画の「星信仰の復活」に該当するのです。

しかし、ニューエイジ運動は「スピリチュアリズムの大衆化」という目的をもって始められた運動なのですが、その本質を正しく理解する人間が地上世界にはいなかったことから、ニューエイジ系の人間による靈的眞理の中途半端な理解、自己顯示欲に動かされた行動による新たな混乱と混沌と破壊の問題を生み出しました。

星信仰の復活に必要な情報とは、心靈治療、音叉による生命いのちの調律、天球の音楽、

ソルフエジオ音叉、チャクラ音叉、惑星音叉、奇經八脈、十二經絡、仙骨、蝶形骨、

靈EXA PICOの心れいたい、靈體ゆうたい、幽體DIRAG、肉の心にくたい、肉體、シルバーコード、チャクラ、ミネラル、ソ

マッチド、バクテリア、大麻、クリスタルなど、あまりに膨大な情報に精通し、正しく本質を理解することが絶対条件であり、わたしは『シルバーバーチの靈訓』、『スピリチュアリズムの思想體系』、『波動の法則』を讀んでいたからこそギリギリ解讀できましたが、とてもじゃありませんが背後靈SEPOUWの献身的な導きがなければ解讀など不可能でした。

大半の人間が子ども騙しの音叉ヒーリングのレベル

しかし星信仰の復活とは「心靈治療」と「セルフヒーリング」による「スピリチュアリズムの大衆化」という大目的があり、あくまでもニューエイジは地球人類救済計画を促進させるため、地球人類救済計画の進行を加速させるためのものであり、音叉

セルフヒーリングは「スピリチュアリズム運動の補助の位置づけ」でなければなりません。あくまでも地球人類救済計画は、靈的眞理の普及によって果たされる、音叉セルフヒーリングの普及をいくらしたところで地球人類救済計画に貢献することは不可能なのです。そういった意味では、音叉セルフヒーリングは地球人類救済計画のPRをすることが出来なかったら、「なんの価値もないもの」です。

さらには、音叉セルフヒーリングは「導入編、入門編、初級編、中級編、上級編、マスター編」というクラスに分かれますが、殆どの人間が入門編レベルおよび初級編レベルで学びがストップしており、音叉モドキという低いレベル、子ども騙しレベルで音叉ヒーリングをしており、音叉ヒーリングの深奥を何も分かっておりません。要するに周波数の叡智を何も理解してもいなければ、実践も子ども騙しレベルなのです。

音叉セルフヒーリングの目的

星信仰の復活は「心霊治療」「セルフヒーリング」という大前提がありますが、もうひとつの大前提が「スピリチュアリズムが明らかにした人間観」であり、人間の5つの本質的要素である「EXA PIECO 霊、れいたい 霊の心、DIKAG 霊體、にくたい 肉の心、肉體」の正しい理解も必要不可欠であり、更には「音楽理論（※音階、スケール 倍音、オクターブ 基音、ホームトーン 音程）」について、「奇經八脈と十二経絡とツボ 經穴ゆうたい」について、「幽體（シルバーコード、チャクラ、仙骨、蝶形骨）」についてなど、膨大な知識が最低限必要となるので、音叉セルフヒーリングの正しい理解と実践をするまでに最低3年〜4年かかります。

しかし、そのレベルにたどり着く前に、間違った知識と実践で結果が伴わないから

音叉セルフヒーリングをやめてしまう人間が8割以上であり、唯一残っている2割の人間も、知識と技術をブラッシュアップをしないで中途半端な理解に留まり実践している。世の中の殆どのヒーラーは低いレベルのままです。なので、音叉ヒーリングをしていて本物といえる存在は1%未満なのが今の現状でしょう。

さらには靈的眞理を知るとは、「靈的眞理の學習がくしゅう」と「眞の禱りいの」による「靈優位の努力」、そして「無私無欲で自己犠牲を通した利他の實踐」、「襲いかかる困難への正しい対処」など、靈的眞理を知った者への責任と義務が発生します。要するに音叉セルフヒーリングは「眞の禱りいの」に位置し、靈優位、靈的視野を定着化させる努力なのであり、その目的は「無私無欲の心、自己犠牲の精神で、人の靈性進化のサポートD E V I Kをするため」にあり、靈優位で利他、奉仕をするための準備運動が禱りいのなのです。

D I K A G
 顯在意識で反發せずに眞理を受け入れる

音叉ヒーリングの三原則とは「禱りいの（意志）」「直観（意識）」「再現性（知識、技術）」であり、この三位一體さんみいつたいが揃った時に「眞の效果」を發揮します。

この中で知識と技術は「再現性」であり、「やり方」に属します。そして意志と意

識が「在り方」に属します。在り方とやり方、これは一対いっついの關係性、コインの裏表の

關係性であり、これらの一致が「靈EXA PIECOの心優位にする決心SEPUIW↓背後靈からの直観を受け取

る↓直観をリスクを恐れず即決心、實行する↓實體驗じったいけんする↓氣づき↓學び↓改善」と

いう地上人生の目的である靈性の進化の一連の經過プロセスになります。このプロセスでない

限り靈性を進化させることは不可能であり、靈優位とはそれほど重要なことなので

す。何故なら、「**顕在意識優位の奉仕はすべて欺瞞**」だからであり、魂の成長に一切繋がらないからです。

日々、靈的眞理マソと禱りPRAYによって靈の心を優位にさせ、その上で背後靈EXA PIECOからのメッセーヂを素直に實行する、失敗しようが成功しようが實體驗じったいけんし、自分自身の未熟さに氣づく、神の攝理せつりを學ぶ、そして次は失敗しないように改善して再チャレンジする、これらが地上人生で82億人全員が必要なことなのですが、殆どの地上人は顯在意識優位D I K A Gで自分自身のやりたいことをし、體驗たいけんしても神の攝理せつりも學ばなければ、失敗したら周りのせい、成功すれば自分の手柄という愚かな行爲をしています。こうした一連の經過プロセスを正しく理解することは、人のためでもあり、結局は死後に自分自身を救済し幸福になる生き方だと、顯在意識D I K A Gで反發せずにさっさと受け入れてほしいものです。